神社と四季「鳥居とつつじ」

広島県神社庁報
ふたば
二葉
第144号
発行所 広島県神社庁
広島市東区二葉の里
☎(082)261-0563
FAX(082)261-6628

穏やかな日常を願って

広島県神社庁副庁長　藤本武則

昨年の春先より新型コロナウィルス感染症が拡がり、国民生活に大きな影響をもたらしている中、各位に於かれましても春秋の大祭を始め初詣や年間の諸祭典並びに神賑行事の縮小や中止等で、かつて例のない年であったとご苦労の程拝察申し上げます。今もなお終息の見通しも立たない状況でありますが、一刻も早く効果的な対策により、従来の当たり前の日常生活が戻ることを祈るばかりであります。

その様な中、今上陛下には御代替りの諸儀式が全て終えられた今年の新年に当り、平安時代初期の寛平二年から恒例化され現在も厳格に執り行われている「四方拝」に臨まれ天地四方と山稜を拝され、その年の災いを祓い、五穀豊穣と国運の長久をお祈りになられました。

昭和天皇御製

「わが庭の　宮居にまつる　神々に　世の平らぎを　祈る朝々」

上皇陛下御製

「波立たぬ　世を願いつつ　新しき　年のはじめを　迎へ祝はむ」

とお詠みになられていますが、今上陛下に於かれましても、同様の思いで臨まれたことと拝察申し上げます。

元日のビデオメッセージで陛下は昨年を振り返られ七月の豪雨災害やコロナ感染症の諸状況に触れられ次のようにお述べになられました。

「様々な理由により困難な状況に置かれている人々の身の上を案じております」常に国民と共にあって、国の安泰と国民の幸せを願われる大御心を拝し、只々恐懼の極みに存じます。

「数十年に一度」「百年に一度」と言われるように、近年想定を超える地震や集中豪雨による河川の氾濫、台風による高潮や強風による被害が急増しています。鹿児島県沖のトカラ列島では、地震が毎日続いているようで南海トラフ地震の前兆ではないかと言われています。

なお、平成十三年の芸予地震では広島県も甚大なる被害がありました。五十年に一度の周期で発生すると指摘されていますが、どうぞ皆様にはコロナ禍とも向き合いつつ、近年多く発生している自然災害に対する防災意識を高めて万全の備えをされますと共に呉々もご自愛下さい。

最後となりましたが、令和三年度の神社庁の運営方針も決まり心新たに、コロナ禍での始まりですが神社庁の諸施策に格別のご理解とご支援を頂きますようお願い申し上げご挨拶とさせて頂きます。

令和二年度定例協議員会

令和三年度予算・諸議案承認される

去る三月二十六日、ホテルセンチュリー21広島にて令和二年度定例協議員会が開催された。

協議員会に先立ち、各支部を代表して沼隈支部の重白将彦支部長に本庁幣帛が手交された。

追林貴之議長進行のもと、令和二年度業務報告、平成三十一年度一般会計・特別会計・事業委員会会計が報告され、いずれも報告通り承認された。

次いで令和三年度神社庁運営方針・業務計画・予算の件について各議案が上程され、原案通り可決決定された。

令和三年度　広島県神社庁運営方針

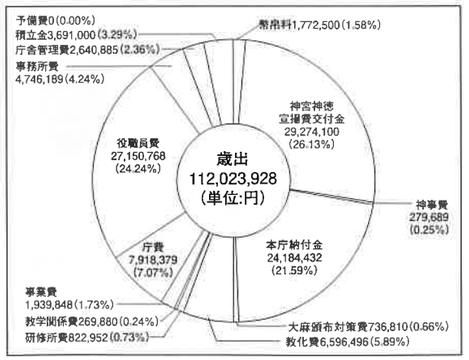
一、皇室の歴史と伝統を尊重し、皇室敬慕の発揚に努める。

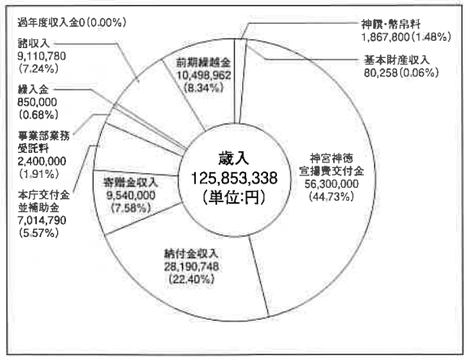
一、神宮大麻全国頒布百五十周年に向け、更なる頒布活動に努める。

一、少子高齢化に伴う、後継者問題を始めとする県内各神社が抱える諸問題に対応すべき施策の構築に努める。

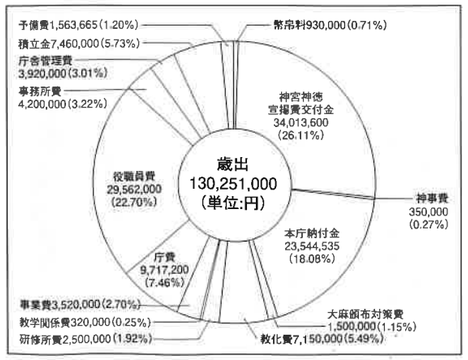
一、将来を見据えた庁舎のあり方並びに支部再編に向けた施策の構築に努める。

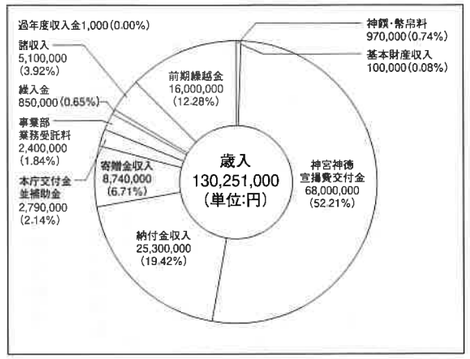
平成三十一年度 広島県神社庁 歳入歳出決算表





令和三年度 広島県神社庁 歳入歳出予算表(案)





令和3年度 神社庁行事予定

	実施予定月日		行事	対象	主催・担当	場所
令和3年	4	13(火)	教化常任委員会	教化常任委員	神社庁	神社庁
		13(火)	教化委員会	教化委員	神社庁	神社庁
		21(水)	青神会定例総会	青年神職	青年神職会	神社庁
	5	[書面決議]	県総代会役員会	総代会役員	県総代会	神社庁
		[書面決議]	県総代会評議員会	総代会役員・評議員	県総代会	神社庁
		10(月)～14(金)[中止]	第75回中国地区中堅神職研修(乙)	中堅神職	神社庁研修所	広島護國神社
		11(火)[中止]	敬神婦人会正式参拝、総会	敬神婦人	敬神婦人会	東照宮、神社庁
		18(火)[中止]	女子神祭式研修	女子神職	女子神職会	神社庁
	6	2(水)	表彰委員会	表彰委員	神社庁	神社庁
		4(金)	神職教養研修会	神職	神社庁研修所	神社庁
		12(土)～20(日)	直階検定講習会(甲)(分割開催)〔最少催行人員10名以上〕	神職子弟他	神社庁研修所	神社庁
		21(月)	女子神役員会	女子神職	女子神職会	神社庁
		24(木)～25(金)	初任神職研修(前段)	初任神職	神社庁研修所	神社庁
		27(日)	第9回神社検定(リモート開催)	一般	日本文化興隆財団	
	7	5(月)	身分選考委員会	身分選考委員	神社庁	神社庁
		8(木)	神社庁役員会	神社庁役員	神社庁	神社庁
		8(木)	神社庁常任協議員会	役員・支部長	神社庁	神社庁
		11(日)～18(日)	直階検定講習会(乙)(分割開催)〔最少催行人員10名以上〕	神職子弟他	神社庁研修所	神社庁
		未定	祭祀舞研修会(浦安の舞…扇舞)	神職他	神社庁研修所	神社庁
		28(水)	女子神祝詞研修会	女子神職	女子神職会	神社庁
	8	1(日)～8(日)	直階検定講習会(丙)(分割開催)〔最少催行人員10名以上〕	神職子弟他	神社庁研修所	神社庁
		未定	祭祀舞研修会(浦安の舞…鈴舞)	神職他	神社庁研修所	神社庁
		10(火)	教化委員会	教化委員	教化委員会	神社庁
		未定	祭祀舞研修会(朝日舞)	神職	神社庁研修所	神社庁
		26(木)	第65回広島県神社関係者大会	神職・総代他	神社庁・総代会	県立文化芸術ホール
	9	2(木)～3(金)	初任神職研修(後段)	初任神職	神社庁研修所	神社庁
		4(土)	神職専門研修会(祭式研修会)	神職	教化委員会	広島護國神社
		6(月)	全国神社総代会役員会	全国総代会役員会	全国総代会	広島市内
		7(火)	第56回全国神社総代会大会	全国総代会関係者	全国総代会	広島文化学園HBGホール
		8(水)	神職専門研修会(祭式研修会)	神職	教化委員会	福山八幡宮
		14(火)	神職身分認定証交付式	昇級者	神社庁	神社庁
		21(火)	神宮大麻暦頒布始奉告祭	役員・支部長	神社庁(福山支部奉仕)	神社庁
	11	11(木)	日本書記輪読*朝日舞	女子神職	女子神職会	神社庁
		19(金)	第67回伊勢神宮新穀感謝祭	神職・氏子・崇敬者	神社庁	神宮他
	12	2(木)	神社実務研修会	神職	神社庁研修所	神社庁
令和4年	1	未定	神社庁歳旦祭	三庁長・神社庁職員	神社庁	神社庁
		未定	神社庁役員会	神社庁役員	神社庁	Hセンチュリー21広島
		未定	神社庁・総代会合同新年互礼会	神社庁・総代会関係者	神社庁・総代会	Hセンチュリー21広島
	2	14(月)	神社庁例祭	役員・支部長・神職他	神社庁	神社庁
		未定	教化常任委員会	教化常任委員	教化委員会	神社庁
		未定	教化委員会	教化委員	教化委員会	神社庁
		未定	参与会	神社庁参与	神社庁	Hセンチュリー21広島
	3	未定	正副庁長会	三庁長	神社庁	神社庁
		未定	神宮大麻、暦頒布終了奉告祭	三庁長・神社庁職員	神社庁	神社庁
		未定	神社庁役員会	神社庁役員	神社庁	神社庁
		未定	班幣式・定例協議員会	神社庁役員・協議員	神社庁	神社庁
		未定	祭祀舞研修会(朝日舞)	神職	神社庁研修所	神社庁

各委員会の令和二年度活動報告及び令和三年度活動計画

教化委員会　委員長　櫻井建弥

令和二年度活動報告

教化委員会　一回開催（二回中止）。
教化常任委員会　二回開催。
感染症対策緊急アンケート（八月一八日～）の実施・集計・分析・報告。
中国地区社頭講話研修会主催（島根県）中止。
中国地区教化会議（岡山県）中止。
全国教化会議（神社本庁）中止。

【研修部会】
教養研修会中止、専門研修会中止、実務研修会中止。
感染症対策研修会（十月二十九日・六十八名参加）

【奉斎・広報部会】
教化ポスター「祈　うけつぐ」作成。
広島県神社庁ホームページ更新（SSL化）。
神宮大麻奉斎テレビCM放送（RCC中国放送にて年末年始四十本）。
広島県テレビCMは、滋賀・愛媛・島根県神社庁で活用。
感染症対策参拝エチケットポスターの作成配布。

【調査・研究部会】
神社後継者対策（資格取得特例措置の周知）

令和三年度活動計画

【研修部会】
教養研修会（六月四日開催予定）、専門研修会（九月四日、八日開催予定）、実務研修会（十二月二日開催予定）、専門研修会は土曜日祭式研修会を計画（広島市・福山市）。日本書紀撰上千三百年関連、神社活性化対策・不活動対策等の研修企画。

【奉斎・広報部会】
教化ポスター作成と広島県神社庁ホームページ更新。神宮大麻奉斎テレビCMの放送。第五回写真コンテスト。令和四年の神宮大麻全国頒布百五十年に向け対策の強化（結婚式・地鎮祭での働きかけ、民放情報番組への企画提案）

【調査・研究部会】第二期過疎地域神社活性化推進施策の指定地域支援活動。神社活性化県内事例の研究。不活動神社対策の周知。県内神楽の調査研究。

事業委員会　委員長　大巳至通

常日頃より事業部をご利用賜り厚く御礼申し上げます。まず、二年度の事業報告です。

①神社建築視察研修について。
中止にしました。

②予算について
増収減益となりました。
ウイルスの影響見極めが困難で「どうなる？」の一年でしたが、結果は扱い件数含め増でした。各神社行事中止なる中、特に年始初詣対応に困窮極められたと察します。結果、最低限の準備を迫られたことが、逆に事業部利用件数が増えた要因となりました。

③独自啓発品の企画について。
ウイルス対策が優先されたため活動出来ませんでした。

さて新年度（三年度）ですが、今年度もウイルス禍の影響が何らかの形で続くことを念頭に活動します。神社建築視察研修会など諸行事は、環境が整えば開催したいと存じます。一方、神社庁一般会計へ繰入金拠出の予算を計上しました。

厳しい状況に変わりありませんが、どうか各神社・神職さんにおかれましては「共助」のお考えに立って戴き、皆さんの神社庁を下支えするためにも引き続き事業部のご利用をお願い申し上げる次第です。

祭祀委員会　委員長　福場快之

①祭式部会
五月十二・十三日　中国地区中堅神職研修会　中止
六月十九日　初任神職研修会　中止
六月二十三日　女子神職祭式研修会　中止
七月一日から　直階階位検定講習会　中止

②神道行法部会
五月十二日　中国地区中堅神職研修会　中止
三年二月　広島県青年神職会研修会　中止
二月　広島工業大学合気道部禊　中止

③祭祀舞部会
七月十八日　祭祀舞研修会浦安の舞（扇）　中止
八月八日　祭祀舞研修会浦安の舞（鈴）　中止
八月二十一日　祭祀舞研修会（朝日舞）　中止

④雅楽部会
四月六日　宮崎神社春祭り演奏会　中止
七月二十八日　世羅西中学校雅楽指導
十月六日　世羅西中学校雅楽指導
三年二月十七日　似島中学校雅楽指導

例年同様、右の研修会が予定されておりましたが新型コロナウイルス感染症対策の為、殆んどが中止になりました。

そのなか雅楽部会では世羅西中学校に三名、似島中学校には一名が指導に出向しました。多感な若い人達が古典的な雅楽器に触れ、すぐ目の前でその音色を聞くことは、教化活動として有意義であったと思われます。

さて、新年度には直階階位検定講習会が三回に分けて開催が予定されています。分割が良かったのか受講生も二十二名の申し込みがあり、これまでの一か月間の合宿制からコロナ感染予防の観点からも通いになるなど、大きな変革です！二回目、三回目の休講期間に、習得した作法を忘れてしまうのでは無いかと懸念もありますが、私どもも心して指導して行きたいと思います。各部会の研修会については、神社庁から詳細が送付されますので、大勢の受講を希望致します。

庁報編集委員会　委員長　内田嘉彰

令和二年度は、左記の編集方針の下、活動いたしました。

一、神社庁、神社庁各委員会との連携強化を図り、情報を提供する。
二、支部通信委員による各支部、神社の活動、及び各地に伝わる様々な有形、無形の文化財等紹介記事の充実。
三、シリーズ企画の推進・充実。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大を防止すると言うことで各社行事等の縮小・中止が相次いだ年となりました。そんな中でも各支部による寄稿は多く寄せられました。

その他についても各方面の協力をいただき、計画通りの日程に沿って遅滞なく充実した内容で発行することが出来ました。

また社紋の調査依頼に対しましても御多忙の中御協力を頂き次年度には何とかまとめることが出来るところまで来ています。

令和三年度編集方針

一、神社庁、神社庁各委員会との連携強化を図り、情報を提供する。
二、支部通信委員による各支部、神社の活動、及び各地に伝わる様々な有形、無形の文化財等紹介記事の充実。
三、シリーズ企画の推進・充実。

充実した内容のためには多くの情報が必要です。広範囲からの情報提供をお願いします。支部通信員の皆様にはより一層の御協力をお願いします。

神社と関わりのある他業種からの情報提供も歓迎しますので、ご提案頂きますようお願い致します。

神社庁関係団体　令和二年度活動報告

◆広島県神社総代連合会　副会長　後　高雄

令和二年度は、四月から全国的に新型コロナウイルス感染が急速に拡大し、それに伴って非常事態宣言が出される状態となりました。

このような状況によって計画されていた会議や行事はほとんど中止または延期となりました。

役員会と評議員会は書面決議となりました。

令和二年度　活動状況

4月	第四十三回全国神社総代会幹部研修会	中止
5月	役員会	書面決議
	評議員会	書面決議
5月	全国神社総代会代議員会	中止
8月27日	第六十五回広島県神社関係者大会	中止
9月7日	第五十六回全国神社総代会大会	延期
10月	広島県神社総代連合会研修会	中止
11月17日	第六十六回伊勢神宮新穀感謝祭	六十二名
1月29日	神社庁・総代連合会合同新年互礼会	中止

◆広島県青年神職会　会長　内田久紀

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、計画されていた事業はほぼ中止となりました。

そんな中、五月六日にコロナウイルスの早期終息を願い、神道青年全国協議会主催による「新型コロナウイルス感染症早期終息祈願」を各奉務神社にて行い、八月十八日には福山市新市町戸手鎮座の素盞嗚神社にて「臨時大祓」を一部会員にて行うなど、疫病の早期終息と皆様の健康をお祈りする事業を行いました。

また遠方への旅行などが制限される現状を見据え、近隣の神社に足を運んでもらえるよう、SNSサイトのインスタグラムにて、県内の神社を紹介するアカウント「広島の神社」の運用を開始致しました。

県内に鎮座するたくさんの神社をより多くの方に知っていただく事を目的とし、各神社へ掲載情報の提供をお願いし、写真と共に紹介をするサイトです。現在、投稿毎に約四百を超える閲覧を頂いております。

役員会は通常の様に集まる事が困難となった為、ウェブ会議を導入致しました。

今年度は役員の改選があり、役員交代となりました。

現在もコロナウイルス終息の目途が立たない状態ではありますが、一刻も早い終息を祈りつつ皆で協力し合い、今できる事を考え模索し、この難局を乗り越えていく所存です。

今年度もよろしくお願い致します。

◆広島県女子神職会　会長　松原ひさみ

平素より当会の諸活動につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、三月十七日の総会に於きまして、会長の大役を仰せつかることになりました。皆様のご協力を仰ぎながら精一杯努めて参りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

例年、女子神職相互の交流と研鑽を図るため、研修会等を開催しておりますが、昨年は、コロナ禍のため中止、延期を余儀なくされました。せめて会報誌『もみじ葉』がその一助になればと、メール、ファックス、郵便送付など、出来る限りの通信手段を利用して編集作業を行い十月に無事発行する事ができました。

また、昨年書面で行いました役員会、総会は、今年度、時間短縮、人数制限等の感染対策をとりながら開催する事が出来ました。祭式などの研修は、その場で見直し聞き直しすることも重要ですので、諸活動も徐々に再開できればと思っております。

平成四年三月に発足した当会ですが、令和四年に設立三十年の佳節を迎えます。コロナ禍の中ではありますが、設立当初に思いを致し更なる歩みを進めるために、何か記念行事を執り行う事が出来たらと思っております。役員一同手を携えて取り組んで参りたいと思いますので、引き続きご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

◆広島県敬神婦人会　会長　吉川明美

日頃より、当会の活動に対しまして、ご理解ご支援を頂きまして、誠に有難うございます。

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により諸行事の延期、中止を余儀なくされた一年でした。

五月十一日に予定致しました第三十八回広島県敬神婦人会総会も、一度は六月に延期致しましたが、止む無く中止とし、議案を役員に書面にて諮り承認を得、会員には資料の送付を以って総会に代えさせていただきました。

九月に予定されておりました第七十一回全国敬神婦人大会「北海道大会」は、令和三年に延期となりました。

又、会員相互の親睦・交流の良い機会であります恒例の「日の丸小旗製作」も中止致しました。

自然災害、感染症、と日本だけでなく世界中がたたかっています。

このような時代こそ神社を中心に心を寄せた、敬神婦人会の役割を見据えていかなくてはと思っております。

令和三年度の活動計画を立て、五月十一日に総会も予定しております。感染症が落ち着き、年間活動が予定通り行えることを切に願っております。

非公表

非公表

非公表

非公表

新任神職紹介

広島市支部
広島護國神社
権禰宜　重白将汰

広島市支部
広島護國神社
権禰宜　上山元康

呉支部
八幡神社
権禰宜　山成悠太

尾道御調支部
神田神社
禰宜　幣原佐衣子

尾道御調支部
八幡神社
禰宜　二五恒至

尾道御調部
八幡神社
権禰宜　二五啓司

尾道御調支部
八幡神社
権禰宜　臼　健太郎

因島瀬戸田支部
八幡神社
宮司代務者　村上允一

府中芦品支部
府中八幡神社
権禰宜　渡辺直樹

府中芦品支部
甘南備神社
権禰宜　小田千晴

佐伯大竹支部
嚴島神社
権禰宜　柳元悠樹

佐伯大竹支部
観音神社
権禰宜　川口春奈

佐伯大竹支部
大頭神社
権禰宜　松原瑞氣

安芸支部
出崎森神社
権禰宜　宗像邦博

山県東支部
八幡神社
権禰宜　平山　亨

豊田竹原支部
嚴島神社
禰宜　松本幸市

深安支部
八幡神社
禰宜　宮永泰成

支部だより

深安支部
「深安支部宮司・神社総代会合同総会開催」

昨年はコロナ禍により、合同総会は中止されましたが、今年は深安支部にて令和二年度の宮司・総代会代議員の合同総会を三月三十一日にJA湯田支店にて行いました。

先ず、国家演奏、神宮遥拝、敬神生活の綱領の黙読を行い、議事に移りました。議事は左記の通りです。

一、石原支部長挨拶　神宮大麻頒布の増体の要請。
二、深安神社総代会久川会長挨拶　令和三年度は、全国神社総代会大会は広島で開催されるので、その協力を要請された。
三、令和二年度事業報告、会計報告、監査報告。
四、令和三年度事業計画　秋の神社研修視察旅行に関して。
五、総代会役員変更について。
以上、計画案通り了承されました。

（徳永淡路　通信員）

深安支部
「徳田幸神社例祭」

神辺町徳田に鎮座する天満神社の境外末社として幸神社が祀られている。この社の祭神は、幸（さい）の神、猿田彦命として、かつ村堺（神辺村との境界）にたつ道祖神として、旅の安全、他村の疫病・悪霊を入れない御利益があり、さらに乳の神様として乳が出るように（願掛けがかない、お礼参りとして、豆くらいの赤い布で猿（お乳）の縫いぐるみを格子戸へ掛けお供えされる事例有り）、及び縁結び、安産、難病・苦病・魔除けを祈願されてきた。またの名として塞の神（さい）、岐神、道神、道陸神（どうろくじん）とも呼ばれている。依り代として、陰陽石（男根の形状）が祀られている。子孫繁栄、五穀豊穣を願い、毎年春分の日に徳田の川東地区の住民により持ち回りで祭典が執り行われている。香炉、蝋燭立てがあり、かつては神仏習合で般若心経も唱えられていたようである。

（徳永淡路　通信員）

比婆東支部
「スポーツ少年団の必勝祈願祭を斎行」

庄原市東城町川東鎮座の聖神（ひじり）社（藤尾正彦宮司）には、毎年一月に地元の少年野球チーム・東城ファイターズスポーツ少年団が必勝祈願祭のため、選手をはじめ指導者、保護者も一緒に参拝します。

スポーツなので勝敗が伴いますが、祝詞には「団結力を培い、挨拶などの礼儀を重んじることができる選手（児童）の成長、練習における怪我や事故のない一年を乞いのみ奉る」の内容が奏上されていました。

また、選手ひとり一人の目標を記した書き初めを持参して祈願成就もしていました。

藤尾宮司からは、「我が子も選手としてお世話になっていた頃が懐かしく思います。低学年の頃は、恥ずかしさで挨拶の声が小さかった選手が、大きな声で堂々と挨拶できるようになって年々成長していく姿を、神様も大変喜び、見守ってくださっております。また、応援してくれる保護者や指導者の方々に感謝の気持ちを忘れないでいただきたい。」と話をされました。

今回の参拝は、スポーツを通じ成長していく子供たちの姿を神々とともに、保護者、指導者、地域の方々が喜び、応援されている大変貴重な行事であると再認識することができました。

（磯川浩之　通信員）

呉支部
「日本初のチタン六葉」

六葉とは社寺建築で、扉・長押・懸魚などの釘隠しに用いられる金具のことです。最高級品は銅地本金メッキのようです。呉市焼山中央鎮座、高尾神社（梶山友美宮司）では昨年の社殿の大改修の際に日本で初めてのチタン六葉を、本殿に十四箇所・拝殿に二十二箇所取り付けました。

チタンは軽い・強い・錆びない特性があります。水や酸に強いので酸性雨にも負けません。綺麗な金属光沢があり、長い年月しっかりした状態を保つ建築材料なので今後使う神社が増えていくものと思われます。

（横田光則　通信員）

呉支部
「神田神社鳴釜神事」

呉支部では二月二日多くの神社で節分祭を執り行った。その中で、呉市阿賀中央鎮座の神田神社（髙橋宜純宮司）では古式ゆかしい鳴動御釜神事が執り行われた。

米が入った樽形のせいろを釜にかけ、蒸す音で厄を祓う神事である。神事はこの日三回行われコロナ禍の中ではあるが多くの参拝者が訪れた。神前で宮司が米を蒸しながら祈祷をする。釜からゴーという低い音が聞こえると参拝者は体の悪いと思う部分に紙の人形（ひとがた）を当て回復を祈る。蒸した米をご飯と一緒に炊いて食べると、その一年病を防げるといういわれがあり、それぞれ家に持ち帰った。

髙橋宮司によると、神事は四百年余り前から続くといわれている。

（横田光則　通信員）

安芸高田支部
「コロナ禍での歳旦祭と初詣」

新型コロナウイルスの感染が拡大し、収束の気配が見えないなかで、郡山城の麓、毛利元就ゆかりの安芸高田市吉田町鎮座の清神社は波多野公一権禰宜により令和三年の新年を祝う歳旦祭を執り行った。皇統の繁栄と、五穀豊穣、地域社会の平和と繁栄などに加え新型コロナウイルス収束などを祈念した。歳旦祭が始まると本殿前に並んだ参拝者の初詣もほぼ同時に始まった。昨年来、すべての神事は参拝者など大幅に制限を行い限定的に執り行ったが、今年の初詣も参道の随所に感染防止の注意喚起の看板を設置、本殿参拝の順路を一方通行とし、鈴緒も外すことで滞留時間を可能な限り少なくするなど対策を行った。

時折雪が舞う寒い初詣となったが、ロープで仕切った順路に沿って整然と参拝がおこなわれた。恒例となった吉田神楽団による奉納神楽も中止となったこともあり、御札や破魔矢、おみくじなどは元旦の午前七時から神楽殿での頒布とした。本殿前では参拝者のために火も焚かれ、昨年とは違い寒さの厳しい雪の初詣となった。

（波多野邦彦　通信員）

佐伯大竹支部
「湯立勉強会をオンラインで実施」

廿日市市の郷土史家や神職が中心となって神道の歴史を学ぶ神社史研究会「ひもろき会」は令和三年三月十八日、湯立勉強会をネット会議システムで開催し三十名がオンラインで参加した。

先ず第一部では広島県を中心とする湯立神事の事例報告として、神職が自ら執り行う湯立について動画や画像を用いて発表。発表者は以下の通り。岡西亮太氏（安佐南区）米原尊信氏（鳥取県東伯郡）内田久紀氏（中区）渡辺直樹氏（府中市）深山裕司氏（南区）。

続いて第二部では慶應義塾大学名誉教授の鈴木正崇先生を講師にお迎えし「湯立とは何か」と題しご講演を賜った。

第一部では各地で斎行される湯立の祭儀を学ぶことが出来た。また発表者の一人は、「発表のため古い祝詞を調べたり、総代さんに色々と話を聞いた。湯立を次世代に伝えていく良い資料を作ることが出来た」と述べていた。

第二部では湯立が神道、仏教、修験道の要素も持った多義的な祭祀であることを学ぶことが出来た。

（瀬戸一樹　通信員）

山県東支部
「大注連縄」

山県郡北広島町大朝鎮座の枝宮八幡神社（森脇健児宮司）においては、天候に恵まれた昨年十一月二十一日に五年ぶりに大注連縄の交換が行われました。注連縄は既製品で長さ十二メートル、重さ六十キログラム程あり、朝八時から約二時間余りの作業で終了しました。地元関係者の皆様十名により注連縄の交換が終わり皆一同歓喜に沸き、拍手喝采をしました。

以前でしたら大人数で縄を編み束ねて製作するのですが、近年年齢層が高くなりなかなかやり方を指導する人が少なく、難しくなり今回から既製品に切り換えた次第になりました。

今回、注連縄を世話して頂いた豊栄堂印染工場は北広島町豊平の阿坂にあります。こちらは大幟・小幟・神楽幕等々製作しておられます。機会があればお問い合わせてはいかがでしょう。

（石橋正敏　通信員）

尾道御調支部
「コロナ終息の願い」

尾道御調支部では、この厳しい情勢の中においても、コロナ禍が一日も早く終息することを願い、神職による祭儀が粛々と執り行われ続けております。

尾道で流行った疫病の平癒祈願で神輿が町中を練り歩いたことを祭の起源としている吉備津彦神社の大祭は、規模を縮小しつつも、健康管理・感染防止対策に万全を期しながら神事が斎行されました。

また、向島の嚴島神社では拝殿に雛人形が飾られ、氏子崇敬者の無病息災が祈られました。日々参拝される氏子崇敬者も、このコロナ禍が一日も早く終息することを祈願されており、神社で執り行われている祭典に対する関心も高まっております。

一昨年設立された尾道新聞の記事では、艮神社拝殿での安全祈願祭やコロナ収束、健康を祈る節分祭の厄祓い、お弓神事は中止とはなりましたが百島八幡神社の祭典、お焚き上げ神事のみで開催なされた一宮さんの節分祭など、多くの神社の祭典を詳しく取り上げてくださいました。

（郡山龍　通信員）

世羅支部
「両化八幡神社の夕顔切り」

両化八幡神社（後藤秀樹宮司）に伝わる「夕顔切り」と呼ぶ神事をご紹介します。

昔、小国村井上山城（土居城）の城主、赤川筑前守房が戦勝を祈願して大勝したので、この特殊神事を奉納したと伝えられています。

本殿の東側の広場に四方竹を立て、注連を張り、ムシロ・ゴザを敷き準備します。

祭典が終わり、御旅所まで神輿が進み、御幸祭が斎行され、本殿に戻ってから「夕顔切り」神事が始まります。最初に関連行事の曳曳応（えいえいおう）が行われ、後にムシロの上に座り込み風呂敷を開け、瓜を出し、あずりながら瓜に竹串を足のように四本突き刺していき、前に立たせます。これを木の大きな包丁で切り分けます。社伝に出てくる「ヒヒ退治」がモチーフとされているようです。切り分けられた瓜は、子供達が家に持ち帰って食します。

使われる奇妙なお面は、右目が大きく左目は小さく、鼻は右寄りに付き口角は右に跳ね上がり、まことに形相恐ろしいものです。作者は不詳で、応安元年（一三六八）に作られたと伝えられています。

昨年のお祭りもコロナで不安がありましたが、氏子の皆さんのやる気が強く、通常通りのお祭りを行いました。「これからも伝統行事を絶やす事の無いよう頑張りたい。」と話されていました。

（籔花慎二　通信員）

支部だより

三原支部
「経国済民」

半藤一利先生のエッセイを読んでいると、経済の語源について記述がありました。私が論じるのは烏滸（おこ）がましいことではありますが、中国の古典にある経国済民、経世済民の略語です。この経済の策は、金儲けの策ではなく世を経（おさ）め民を済（すく）う方策ということ。日本でも江戸時代までは経国済民の意で使われており、明治になり西洋文明が入ってから今のエコノミーの意をもっぱらとするようになったらしいです。

本義に立ち返り考えると、この二十年間で経済成長を最優先とし弱者を犠牲にしてしまったことが良くなかったように思われます。経済は科学というよりは一つの技術であり、その時々に応じて自由にしたり管理したり適切な対策を採らなければ効果がありません。コロナ下の状況で、もう一度経済問題を言葉の原点に立ち返り考えてみることは大切だと思います。

（桑原光彦　通信員）

編集後記

「二葉」144号にご寄稿下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。

コロナ禍第4波到来の中、通常とは違った形でも祭典や伝統行事が氏子崇敬者の皆様のご協力を得て、守り伝えられていることに安堵します。ワクチン接種が始まったとはいえ、変異株の脅威は侮れません。引き続き感染防止対策を図り、神明奉仕に努めたいものです。関係各位のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

庁報編集委員一同

◆表紙写真提供：広島市支部　東照宮

支部だより

安芸高田支部
「サンフレッチェ広島必勝祈願」

今年のJ1リーグ開幕戦を前に、毎年恒例となっているサンフレッチェ広島必勝祈願祭が、二月二十三日(火)戦国大名・毛利元就の居城だった郡山城の麓、元就ゆかりの安芸高田市吉田町鎮座の清神社で行われた。清神社はチーム名の由来となり「三本の矢」の故事で知られる毛利元就とゆかりが深く、元就が戦の前に必ず訪れたとされている。

昨年は八位で終わったが、巻き返しをはかるべく、城福監督や選手、スタッフ、フロント約五十人が参拝した。波多野邦彦宮司の必勝祈願祝詞に続き、城福浩監督、仙田信吾社長、荒木隼人選手が玉串を奉奠し必勝を祈願した。

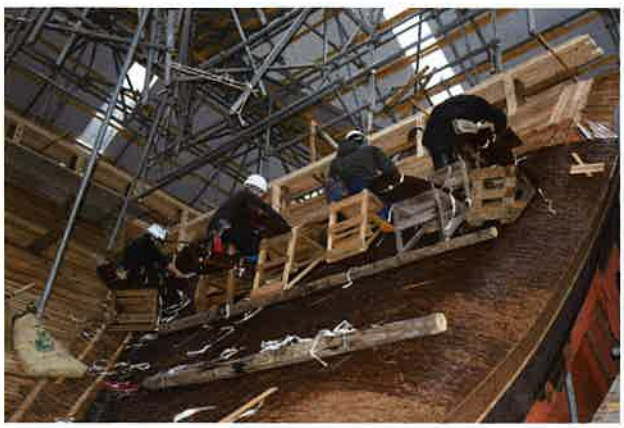
神事にさきがけ、荒木隼人選手と佐々木翔選手が絵馬を奉納。神事に続き甲冑姿の元就に扮した市民から、城福浩監督が毛利元就の「三矢の訓」に由来する必勝祈願の三本の矢を受取り、関係者のみで行われた必勝祈願祭を無事終了した。

例年多くのファンや幼稚園児など一般参拝者と選手が清神社の社殿前で記念撮影を行っていたが、新型コロナ感染防止のため取りやめとなった。

(波多野邦彦　通信員)

府中芦品支部
「本殿屋根替え一年を経過して」

福山市新市町宮内に鎮座する備後一宮の吉備津神社(追林貴之宮司)では、国指定重要文化財の『本殿』の保存修理工事が本格的に開始し一年が経過しました。この間を振り返ってみたいと思います。

令和元年十一月一日に、文化庁文化財保護審議会において事業着手の承認をいただき、令和二年二月九日に仮殿遷座祭を斎行し、着工奉告祭を工事関係者で行いました。工事は、最初に本殿周辺支障物の移動・撤去を行い、耐震調査の後、足場を組み立てて、最上部の棟瓦・鬼瓦を解体し、屋根にある古い檜皮が撤去されたのは、五月末でした。その後、縁下土壁の解体や飾金具・畳の取り外しなどの作業を進め、下部の方から造作材の解体修復から屋根の野地・小屋組の補修といった木工事を行い、九月から上軒付積の檜皮葺が開始されました。現在、工事は順調に進み、屋根の檜皮葺がほぼ完成した状態になっています。木工事も廻縁の組み立てを残すのみで、終了に近づいています。今後は内部の塗装工事が本格的に始まり、令和三年十二月末竣工を目指し、関係者一同、安全な作業を心がけ取り組んでおります。

(尾多賀晴悟　通信員)